

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

あけましておめでとうございます！

いやはや。

ついに7月1日になりました。

毎年7月1日といえば、フィギュアスケートの新シーズンの情報が解禁になる日なので、スケートファンの間では「あけおめ」の挨拶を交わすのが通例なのです。

で、さっそくGPシリーズのエントリーを確認したんですが。

さすがオリンピックシーズン後だけあって、選手の入替わりがかなり激しいようで。

そんな中、男子ではジェレミー・アボットや、ペアではボロソジャール・トランコフ組など、てっきり引退したと思っていた選手の名前があって、非常に嬉しいサプライズでした。

それにしても、いよいよですね。

花形選手たちの引退&休養の影響で、「今年は観戦者が減るんじゃない？」と心配する声もありますが、羽生選手の五輪金という追い風もありますし、今シーズンも盛り上がって欲しいです。

さてさて。

話は突然変わりますが、パブ版の6月分を配信したので、リンクを載せておきます。

らくだ図書館（30）

<http://p.booklog.jp/book/87615>

スケートの新シーズンについて語りましたが、続々と春の賞の結果が発表される7月は、投稿の上でも新シーズンと言えるかもしれません。

今日から始まる2014年後半戦も、皆様どうぞよろしくお祈りします！

手作り生煎包 - 2014.07.02 Wed

週末に生煎包を作ってみたので、今回はその様子をご紹介します。

最初は下ごしらえ。

水、中力粉、イーストをこね回し、まずは生地を作ります。



生地は2時間放置して、十分に発酵させます。

その間に、中に入れる具を準備します。

材料は豚肉、ニラ、キャベツ、塩、砂糖、コショウ、ごま油などです。



2時間たったら、生地を小さく千切り、手作業で具を包んでいきます。

ベストサイズは、小籠包より少し大きめ、肉まんよりも少し小さめ。

しかし、いざ挑戦してみると、微かな加減が難しい……。



下ごしらえ完成！

一つ一つ形が違うのはご愛嬌。

これを、閉じた部分を下にして、フライパンの中火で焼きます。



焼けてきたら、水溶き小麦粉を流し込んで、フタをして強火で蒸します。

焦げ色がついたら裏返し、裏側も同様に作業します。

ご覧ください。

いい感じに仕上がりましたよ。



完成～。

お皿に盛り付け、いただきます！

実際に食べてみたら、少し味が薄かったものの、皮のカリカリ感が絶妙でした。



そんなこんなの、手作り生煎包。

少々時間と手間がかかりますが、その分、作る過程の楽しさがありました。

機会があれば、また挑戦してみたいです！

なろう大賞 1次発表 - 2014.07.03 Thu

小説家になろう大賞の、1次発表がありました。

A Rの方は6月末に、MFの方は昨日、発表された模様です。

【MF部門】

http://mfbooks.jp/award/2014_1.html

【AR部門】

http://www.arianrose.jp/award/2014_1.html

1次通過された皆様は、おめでとうございます！

それにしても、通過リストを眺めていると、公募でもお名前を見かける方が、チラホラといらっしゃいますね。

前にも一度書いたけれど、ネットと公募の両方で活動している人は、本当にスゴイと思うし尊敬しています。

自分ちょっと前に、「公募はこれから衰退する一方で、ネット小説の書籍化がメインになりそうで、それが悲しくて仕方ない」みたいな記事を書いたじゃないですか。

でも両方の良さをきちんと理解して、両方で結果を出している方々だって、こうして世の中に存在するわけですよ。

そう思うと、「ああ、自分はただ愚痴ってるだけの人間だな」って、深く反省。

とりあえず、現状に文句を言っているうちは、ハッピーなんて訪れないと思います。

これは何も、小説投稿だけに限った話じゃなく、人生全般に言えることだと思いますが。

なので両方のいい部分を見極めて、両方やることも具体的に視野に入れつつ、前向きに活動していきたいです。

こんばんは、らくだです。

えんため落選用に買った、ロイズポテトチップチョコは、結局まだ食べていません。
来週電撃の1次発表があるので、それまで取っておくつもりです。(落ちる気満々)

さて、本題。

先日1次発表があったえんためガールズにおいて、通過作品の掲載漏れがあったそうで、公式ホームページのリストが昨夜修正されました。

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/g_novel_1st2014.html

通過作は60本と発表されていましたが、正しくは64本だったということです。
4本追加された新しいリストは、上のページから確認できます。

でも……ねえ？

人間のすることだから100%の完璧はないと思いますが、それでもやっぱり、こういう発表ミスは起こして欲しくないと思います。

我々小説投稿者にとって、通過リストを見た時に動く感情エネルギーは、落ちても通っても相当です。

なのにそれが事実ではなかったら、何を信じていいのかわからないような、空虚な気分になってしまいますよね。

あっさり1次落ちした分際でアレですが、こういうミスは賞の信用度を落とすことにも繋がりがねないので、今後起こらないようにして欲しいです。

すでに各所で話題になっているようですが、日本ラブストーリー大賞の応募要項が、直前の今になって大きく変更されました。

【公式ホームページ】

<http://japanlovestory.jp/outline>

まず賞の名称が、「日本ラブストーリー大賞」から、「日本ラブストーリー&エンターテインメント大賞」に変更されました。

略称も「日ラブ」ではなく、「ラブタメ」になるようです。

500万円だった賞金については、100万円に減額されています。

しかし何より驚いたのは、

「募集するのは、エンターテインメント小説です。時代や小説のジャンルは自由です。」

あれっ？

数日前にホームページが修正された直後は、「仲間愛や家族愛を含めた、広義のラブストーリー」みたいな表記があった気がするんですが、いつの間にかその文章が消えて「ジャンル自由」になっているという（汗）

えっと……？

ラブストーリーじゃなくてもいいのかな……？

色々事情はあるのだらうと思いますが、締切りまで1か月に切った段階でここまで大きく要項を変更するなんて、聞いたことがないのでビックリしました。

これでもう最終決定版なのか、他にも変更点が出てくるのか。

締切りまで3週間少しですが、様子を見守ろうと思います。

こんばんは、らくだです。

メールで質問をいただきましたので、今日はそれにお答えしようと思います。

内容はズバリ、「書こうと思って準備していた作品が、既存作品の設定と偶然かぶってしまった場合、らくださんならどうしますか？」

うん、ありますねー。

そういう場合って、精神的にすごく焦るし、損した気分になるんですよね。

「この〇〇設定は、オイラが使って大ヒット作品を生み出す予定だったのに、横取りされたー！」みたいな(経験者)

ちなみに先に結論をお伝えすると、そうなった場合も、自分だったら予定通り書きます。

正解は人それぞれだと思うので、あくまで「自分なら」って前提ですが。

何故かと言うと、そこで書くのをやめてしまったり、かぶった設定を変更したりしたら、自分自身が後で納得できないと思うんですよ。

ここは逆に、真正面から戦うつもりで、かぶった設定のまま真剣勝負。

で、「同じ設定でもこっちの方がいいね」と、読者に言ってもらえたら最高ですよ。

有名作品が相手だったら負けてしまう可能性もありますが、それでも不戦敗で引き下がるよりは、全力を出し切って負けた方が後で納得できると思いますし。

そんなわけで結論は、

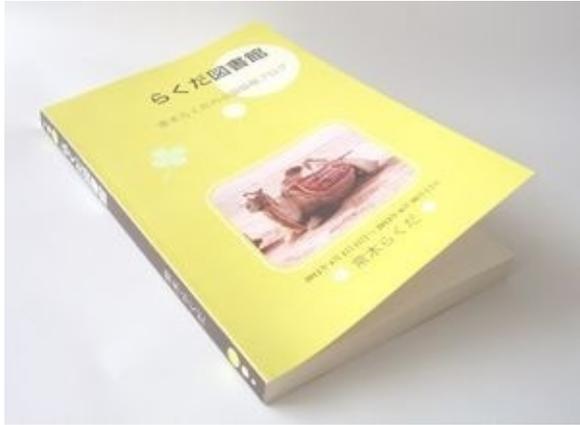
「設定が偶然かぶったら、その設定を回避するのではなく、むしろ徹底的に書いて勝負せよ」

もちろん最初に断った通り、人によってベストな答えは違うと思いますが、それが一番納得できる選択肢じゃないかなーと思います。

こんばんは、らくだです。

本日は自作本の宣伝ですので、興味のない方はスルー推奨で。

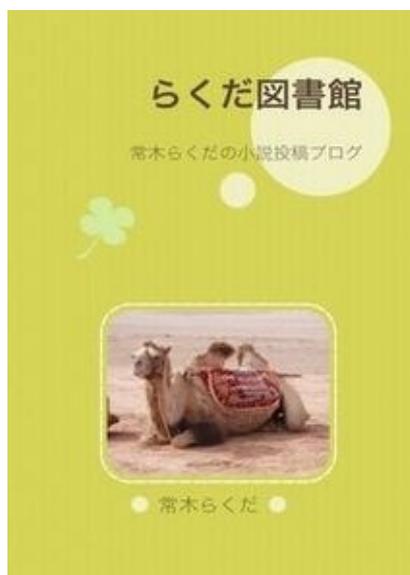
だいぶ前にも紹介しましたが、当ブログ「らくだ図書館」を、半年毎に製本しております。



あまりいないとは思いますが、もし仮に購入希望の方がいらっしゃれば、ブログ出版局のサイトから注文していただけます。

ネットと完全に同じ内容ですし、印刷・製本代もそこそこ高いので、派手に宣伝するのは気が引けるんですが……。

まあでも、以前注文してくださった方がいらっしゃるのので、最新版を追加してひっそりと再紹介しておきます。



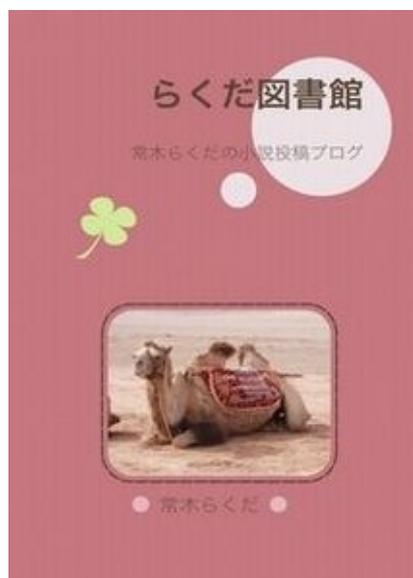
【らくだ図書館1】

掲載記事 : 2012年1月1日～2012年6月30日

ページ数 : 229 ページ

頒布価格 : 2,632 円+送料

[ご購入はこちら](#)



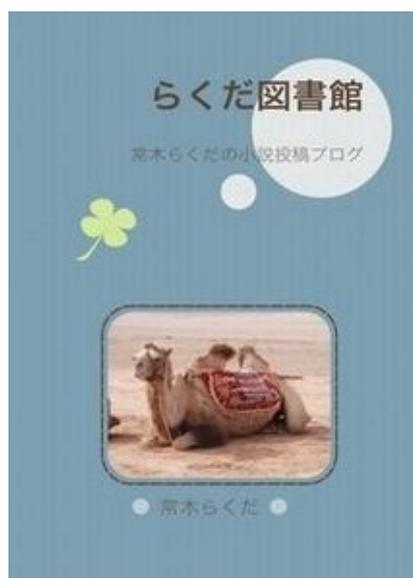
【らくだ図書館2】

掲載記事 : 2012年7月1日～2012年12月31日

ページ数 : 209 ページ

頒布価格 : 2,472 円+送料

[ご購入はこちら](#)



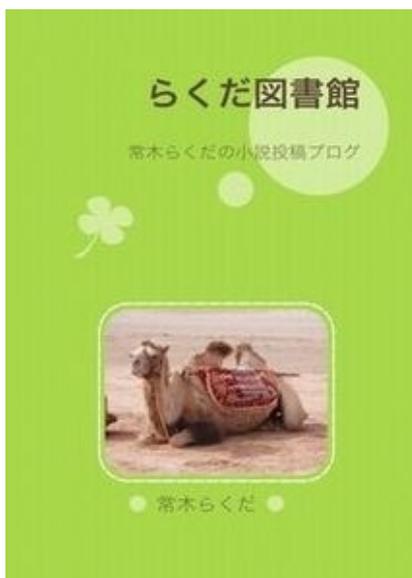
【らくだ図書館3】

掲載記事 : 2013年1月1日～2013年6月30日

ページ数 : 207 ページ

頒布価格 : 2,456 円+送料

[ご購入はこちら](#)



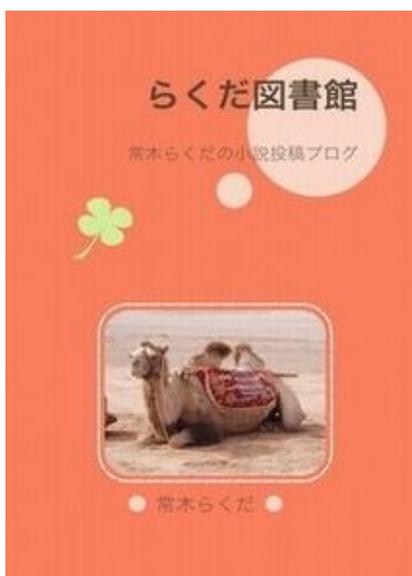
【らくだ図書館4】

掲載記事 : 2013年7月1日～2013年12月31日

ページ数 : 215 ページ

頒布価格 : 2,520 円+送料

[ご購入はこちら](#)



【らくだ図書館5】 <NEW!>

掲載記事 : 2014年1月1日～2014年6月30日

ページ数 : 243 ページ

頒布価格 : 2,744 円+送料

[ご購入はこちら](#)

え、フラゲ？

まさか8日に来るはずないし～。

なんて悠長に構えていたんですが、どうやら本当にあったようで、完全に乗り遅れてしまいました。

うおおおん！

のんきにスマホ版ドラクエ2やってる場合じゃなかったあああ！

しかも検索キーワードから、「フラゲ来たよ」って教えられました（汗）

ありがとうございました & 情報の遅い奴ですみません。

というわけで。

公式前に記事を書くのはイヤなんですが、無理して他の話をする気分でもないので、構わず書いちゃうことにします。

自分の名前、ありました！

しかも、すっげー最初の方！

いや、嬉しいっすマジで。

去年は親しい投稿者さんがほぼ全員通過して、自分の名前だけリストになかったので、悲しみを分かち合うこともできず、一人でこっそり悔し泣きしましたからね……。

まあ公式前に語るのもアレなので、詳しい感想は、公式後に改めて書こうと思います。

とりあえず今回の記事は、フラゲ見たぜー報告でした。

あと2日ありますが、公式ホームページの更新と、雑誌の発売を待とうと思います。

本日、富士見ラノベ文芸賞の1次発表がありました。

【発表ページ】

http://www.fantasiataisho.com/contest/2nd_bungei.php

応募総数 608作品
1次通過 44作品
通過率 約7%

1次通過された皆様は、おめでとうございます！

自分は不参加でしたが、知っている方のお名前があって、個人的に嬉しかったです。

それにしても、6月末あたりから、本当に発表ラッシュですよ。

この後（今月から来月）1次発表があるのは、OVL、スニーカー、集英社ラノベ、コバルトロマンあたりですかね？

2次があるのは、えんため、えんためガールズ、講談社ラノベ、ビーンズなどなど。

これだけ長く投稿を続けていると、たいていの賞で知っている人の名前を見かけるので、通過発表は今後でも欠かさずチェックしていこうと思います。

他人の活躍を見るのは、悔しいんですけどね。

非常に悔しいけれど、すごく励みにもなって、いい刺激がもらえます。

というわけで。

今はちょっと新作執筆を休んでいるんですが、気持ちは次の投稿に向けつつ、来たるべき夏を乗り切りたいと思います！

電撃小説大賞の1次結果が、サイトにアップされました。

【発表ページ】

http://asciimw.jp/award/taisyo/announce_21_01.html

応募総数 5055作品

1次通過 654作品

通過率 約13%

おとといも書きましたが、自分の名前が見つかって、狂喜乱舞しております。

だって、この2年間……。

電撃だけに限らず、参加したすべての賞で、新作が1度も通らなかったのよ……。

もうね。

いくら創作が好きでも、さすがに泣いちゃうよ。

自分の才能のなさに絶望して、投稿やめようと思っちゃうよ。

マジで2年間そういう状態で、今回また全滅したら本当にやめようかなと思っていたので、1次通過できてよかったです。

でもね。

すごく自信があって、受賞確実と思っていた作品は、ぶっちゃけ落ちたんですけどね。

しかし1本通っただけでも、今の自分にとっては、ものすごく嬉しいです。

完全に行方不明だった意欲が、またちょっと戻ってきました。

それから、メッセージをくださった皆様、どうもありがとうございました。

今日はスペースが足りないなので、日を改めて、まとめてコメントレスします！

ここ数日、たくさんのメッセージをいただきました。

ツイッター経由だと返信したりファボったりできるんですが、検索キーワード経由だとリアクションできないので、ここでまとめてレスしたいと思います。

<フラゲ来たぜ？>

情報ありがとうございました！

発表を何より気にしている割に、情報収集の遅いアナログ人間なので、これからも是非よろしく願います（他力本願）

<F5の16連打お疲れ様！>

いやいや（汗）

流れに乗り遅れたので、今回はしてないっす。

しかし、相手が16連打世代だと思うと、妙に親近感を持ってしまいますね。

<俺と競争だ！>

よっしゃ、競争すっぞ……って、勝てる気まったくしない（汗）

以前、「電撃で勝負や！」のコメントをくださった方でしょうか？

どこまで残るか競争もいいですけど、一緒にデビューできたら素敵ですよ！

<飲食店って、火鍋の話？>

火鍋も大好きですが、今回はイタリアンです。

でも、タイトルを見て内容に興味を持ってもらえるのって、すごく嬉しいですね。

何度もしつこく言いますが、丸2年ほど新作が通らなかったの、余計にそう思います。

<らくださん、くじけないで！>

ちょ、待っ、通過報告を書いたのに、どうして「くじけないで」ー！？

そんな言い方したら、常にヘコんでる人間みたいじゃないですかっ。

でも励ましの気持ちは、ありがとうございます！

ひとまず、以上です。

こうしてたくさんメッセージをいただくと、「ブログやって良かった」と実感できますね。

こんなヘタレな投稿者ですが（汗）、これからもよろしく願います！

こんばんは、らくだです。

前回レスを書いた後も、DMやメールなどから、たくさんお祝いをいただきました。

うわあああん！

皆様ありがとうございます！

この場に名前を掲載していいかわからないので、個別のお返事は控えますが、どのメッセージもありがたく拝見しました。

やっぱり、嬉しいですね。

新作が通過したの、2年振りですもん。(何度でも言う)

あまり舞い上がると落ちた時にツライですが、今喜ばないと他に喜べる時がないので、2次発表まで浮かれていようと思います。

それから業務連絡(?)ですが、冬頃に数名の方に読んでいただいた投稿作は、残念ながら1次で落選してしまいました。

ただ、問題点はわかっているので、納得できない悔しさはありません。

悪かった部分を冷静に見直して、別の賞に挑戦しようと思います。

そうそう。

別の賞といえば、集英社が新しいラノベレーベルを立ち上げるそうで。

<http://dash.shueisha.co.jp/dx/>

詳細情報は8月15日公開予定！

今の情報だけでは何とも言えないので、どんな賞になるのか、更新を楽しみに待とうと思います。

大阪の某有名ホテルにて、ミニコース料理を食べたので、その写真を紹介します。

会場はここです！

まあ、「某」とか言っても、近所の方は写真でわかると思いますが……。



ミニコースは全3品でした。

まずは、コチラ。

さすがはコース料理、金箔が輝いています。



キャビア・卵黄とシロ海老マリネの球状・アマランサスのウエハース添え。

金箔は非常に薄くて柔らかく、そのまま食べていいそうです。

手前のウエハースと一緒に食べると、パリパリした食感が味わえます。



肝心の味なのですが、キャビアも卵黄も両方ニガテなので、水で流し込みました（汗）
我ながら勿体ないですが、気を取り直して、2品目へ行きましょう。

2品目、ジャージャーン！



蝦夷鮑とアオリ烏賊のソテー、コリアンダー香る夏野菜のマリネ添え、ルッコラソースとイカスミソース。

こちらは絶品！

ナイフでラクラク切れるほど、イカもアワビも柔らかく、美味しい一皿でございました。



続いてデザートへ。

マンゴーとカシスのヴァシュランです。

2枚あるピンクのせんべい(?)が、マカロンみたいな甘さ&食感でした。



しかし、コース料理の名前って、どうしてこうも難しいのでしょうか？

長すぎて覚えにくい上に、皆が知らない単語を多用して、中身が全然伝わらない。
投稿作だったら、即・落選ですね。

いや、実際は料理だし、美味しいからいいんですが……。



窓からは、堂島のビル群が見渡せました。

さすがに毎日というわけにはいきませんが、たまにこういう食事をして、自分にご褒美を与えるのもいいですね。

機会があれば、また行ってみたいです！

こんばんは、らくだです。

最近急に湿度が高くなって、寝苦しい日が続いています。

さて、今日の本題。

エリクションライトノベルコンテスト（通称：なろうコン）の、第3回が開催決定したようで、告知ページが公開されました。

【第3回なろうコン】

<http://www.wtrpg9.com/novel/narou3.html>

作品エントリーの開始は、10月1日からだそうです。

協賛出版社は、

- ・宝島社（このラノ文庫）
- ・双葉社（モンスター文庫）
- ・新紀元社
- ・ポニーキャニオン（ぽにきゃん BOOKS）
- ・主婦の友社（ヒーロー文庫）
- ・マイクロマガジン社（GCNOVELS）

以上の6社！

前回より3社増えています！

なろう系コンペのいいところは、ネットで作品の公開を続けたまま、エントリータグを貼れば応募完了ってところですよ。

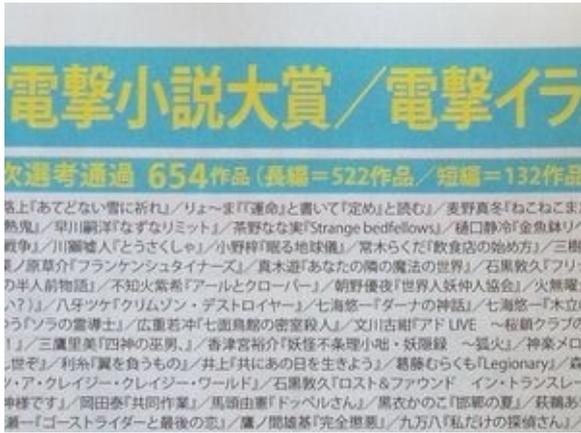
詳細発表は10月なのでまだ先ですが、公開できる作品をお持ちの皆様は、参加を考えてみてはいかがでしょうか？

本日7月15日（火）は、何の日でしょう？

祇園祭？

ハリポタ？

いえいえ、週刊アスキーの発売日です！



わあ、見て！

3行目に「常木らくだ」って書いてあるよ！

というわけで、週刊アスキーを記念購入しました。

サイトはいつか消える可能性があるので、リストが欲しい方は今すぐ本屋へゴーです。
電撃 PlayStation にも載っていますが、週刊アスキーの方が値段が安いです。

ちなみに雑誌には、サイトに書かれていない、長編と短編の内訳が載っていました。

1次通過 654作品

長編 522作品 (約8割)

短編 132作品 (約2割)

まあ、アレですね。

あまり電撃の話ばかりすると、ウザイと思われそうなので、今日あたりで一旦やめます。

とにかく今回は、カムバックできて嬉しかったし、励みになりました。

これから秋の賞へ向けて作業しつつ、同時に「これで受賞して投稿やめたいなー」なんて思いつつ、2次発表を待ちたいと思います。

こんばんは、らくだです。

七夕の記事を書き忘れてしまいましたが、今もっとも叶えたい願いはデビューです。

そうそう、デビューといえば。

今まで一緒に頑張っていた小説投稿仲間のつるみ犬丸さんが、メディアワークス文庫からデビューすることが決定しました！

『駅伝激走宇宙人その名は山中鹿介！』

著者：つるみ犬丸

レーベル：メディアワークス文庫

発売日：2014年8月23日

発売日は来月です。

読書メーターやアマゾンの予約も、すでに始まっているようです。

【読書メーター】

<http://book.akahoshitakuya.com/b/4048668692>

【アマゾン】

http://www.amazon.co.jp/dp/4048668692/ref=cm_sw_r_tw_dp_2oNXtb019TF7R

肝心の内容については、タイトルを見ただけでは、まったく想像できません（汗）

宇宙人が駅伝？

山中鹿介ってあの戦国武将？

これらのキーワードがどう繋がるのかわかりませんが、つるみさんはとても爽快で読後感のいい小説を書かれる方なので、この作品もきっとそうなっているに違いありません。

発売まであと1か月少し、一体どういう物語なのか、楽しみに待ちたいと思います！

こんばんは、らくだです。

九州南部は梅雨明けしたそうですが、早く本州も明けて欲しいものです。

さて。

前回「祝・デビュー」というタイトルで記事を書いたら、常木らくだのデビュー報告だと、盛大に勘違いされた方がいらっしまった模様です（汗）

そうですね……。

たしか携帯版は、タイトルをクリックしないと、本文が読めないんですよね……。

あと、ちょっと前の話になりますが、「こんなに毎日面白い記事を書けるなんて、やっぱり作家さんはスゴイですね！」という、応援メールをいただいた経験もあります（マジ話）

えっと。

誤解のないよう、ここで改めて、宣言しておきますね。

常木らくだはワナビです！

現在投稿6年目ですが、出版社から連絡が来たことは、まだ1度もありません！

はい。

ここ、テストに出ますから、赤く塗っておきました。

まあでも、「作家さんだと誤解されるくらい、ブログが面白かったのかな？」と考えたら、それはすごく嬉しいですね。

今はこんなにヘタレな投稿者ですが、この話を「嘘から出たまこと」にできるよう、いつかは本物の作家になりたいものです。

読者様から、「らくださんの小説よりエッセイが読みたい」というコメントを頂戴しました。

ありがとうございます……え、ちょっと待って？
逆に言うと、小説は読みたくないってこと？

いやー、やめてー！
それは言葉の暴力よー！

でも、確かに。
前にも書いたと思うんですが、そもそも自分の夢は、エッセイを出版することです。

日記を書くのは好きだし得意だし最高に楽しいですけど、小説を書く（ストーリーやキャラクターを考え出す）能力は、ぶっちゃけ人並み以下のレベルだと思ってますし（汗）

しかしね。
エッセイの新人賞って、探してみると、あまりないんですね。

公募ガイドなんかにはチラホラ載ってはいるんですが、規定枚数が「400字詰め原稿用紙5枚」とかで、そんなんじゃ自己紹介だけで終わっちゃうよ、っていう。

もう、本当にねー。

長編小説1本くらい（200枚〜）の文章量で、エッセイを受け付けている新人賞があれば、全力で参加したいと前からずっと思っています。

というわけで、自分自身でも探しますが、いい賞をご存知の方は教えてください！

とはいえ、ブーブー言っているだけでは前進できないので、エッセイの賞はエッセイの賞で探しつつ、小説投稿の方も引き続き頑張ろうと思います。

アマゾンで予約注文していた、『アナと雪の女王』が届きました！

映画視聴時にもチラッと書きましたが、ようやくDVDが一般発売されたので、ネタバレを含んだ感想を書いてみます。

実は、ですね。

自分はこの作品が大好きなんですけど、一つだけ不満だった点があるんです。

それは何かと言うと、

【ラストシーンで、氷の魔法がとけてハッピーエンドになるのに、氷で出来ているはずのエルサのドレスはとけない！】

何故だあああ！

あのドレスは魔法で出した物だろおおお！

で、もう一度見直してみたんですが、やっぱり彼女『レット・イット・ゴー』を歌いながら、魔法で氷のドレスに着替えているんですよね。

それなら魔法と一緒に、ドレスもとけるはず。

いや、別に下心とかじゃなく、それが設定に忠実な展開ってもので。

まあ実際にそうなったら、ディズニーじゃなくて、ヤッターマンですけどね！（古い？）

というわけで、エルサのドレス問題については不満が残りましたが、全体的にはキラキラしていて非常に素敵な物語でした。

やっぱり王道っていいですよ。

まだまだ修行中の身分ですが、自分もいつか、ああいう作品を書きたいです。

こんばんは、らくだです。

話題にするのが遅れましたが、オバラプの1次発表がありました。

【発表ページ】

<http://over-lap.co.jp/bunko/award/>

応募総数 195作品

1次通過 29作品

通過率 約15%

1次通過された皆様は、おめでとうございます！

え？

オイラ？

オイラは送ってな……いえ、今回は送りました（爆）

もうね。

オーバーラップさんは、何をどのように送っても、通る気がしないですね。

でもフィードバックが早いから、1次落ちすることが想像できても、なんだかんだで送っちゃうんですね。

締切りから1か月ちょっとで、コメント入りの評価シートを貰える賞って、今のところ他にないですし。

まあ、スタンプラリー（集めるのが目的）状態になって、肝心の作品がスカスカでは本末転倒なので、貰った評価シートはありがたく参考にしつつ、そこは気を付けるようにしたいと思います。

レゴで作った世界遺産展 - 2014.07.21 Mon

堂島リバーフォーラムで7月19日から開催されている、『レゴブロック』で作った世界遺産展へ行ってきました。

会場には、レゴで出来た世界遺産が、ズラリと展示されています。
旅行好き・世界遺産好きには、たまらないイベントです。



2階から撮った会場の様子。

この写真では見えにくいですが、レゴで作られたスフィンクス2体（写真下方）が、入場者を出迎えてくれます。

ちなみに会場は、写真OKでした！



こちらはフランスの、モンサンミ歇尔。
右上にチラッと見えている丘は、ギリシアのアクロポリスです。

と、会場を歩いていると、ひときわ目立つタワーが……。



サグラダファミリアの雄姿。

建物の外観はもちろん、内部まで精巧に作り込まれています。

レゴという遊びのイメージが強いですが、この域に達するともう完全に職人技ですね。



日本・海外を含め、たくさんの世界遺産がありましたが、自分が一番気に入ったのはコチラです。

ネパールにある仏教寺院、スワヤンブナートです。

「カトマンズの渓谷」の一部として、世界遺産に登録されています。



なんというか、チベット仏教寺院って、独特の空気感がありますよね。

自分はネパールへ行った経験はなく、中国やモンゴルで何度か見学しただけですが、このレゴには心惹かれるものがありました。



最後にもう1枚、2階からの写真を。

この特別展ですが、入場料は400円で、8月31日まで開催されています。
近くにお住まいの方は、夏休みのお散歩がてら、訪ねてみてはいかがでしょうか？

【イベントホームページ】

<http://www.pofp.jp/>

暑さの厳しい最近ですが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。
ようやく近畿地方も梅雨明けし、日差しの強い日々が続いています。

そうそう。
学生の皆様は、今からちょうど、夏休みに入りますよね。

恋もよし、旅行もよし、創作活動もよし。
どうか楽しい夏休みを過ごしてくださいませ。

ちなみに実際、オイラは学生さんに応援されるたびに、一人で妙な冷や汗を流してますけどね……（汗）

いや、だってね。
こちらから見れば、それこそ干支が一周するくらい、彼らとは年齢差があるわけですよ。

そういう読者の方々は、常木らくだの昭和センスをどう感じているのか、個人的に非常に気になるところです。

あ、それはそうと。
ちょうど梅雨明けした週末に、ベランダから虹が見えました。



写真ではわかりにくいですが、弧の長いとても大きな虹でした。

夏休みの始まりに、梅雨が明けて、綺麗な虹と遭遇する。
何か素敵なことが起こりそうなシチュエーションですよ。

というわけで、7月下旬&8月！
外は暑いですが、いい出来事があると信じつつ、気合いで乗り切りたいと思います！

このブログは小説投稿ブログですが、翻訳関連のキーワードで訪問してくださる方もいるようなので、今回は翻訳の賞をご紹介します。

【第18回映像翻訳コンテスト】

応募期間 : 7月14日(月)～8月15日(金)

応募部門 : 洋画部門、邦画部門

結果発表 : 9月中旬

賞品 : JTB旅行券18万円など

主催 : 株式会社アルク

ホームページ : <http://www.alc.co.jp/jimaku/>

応募方法 :

上記サイトで課題映画を確認できるので、それを英語⇒日本語(邦画部門は日本語⇒英語)に訳して、ホームページ上から投稿する。

自分はアルクの回し者でも何でもないですが、翻訳系の賞に興味をお持ちの方は、是非参加されてみてはいかがでしょうか。

というのもこの賞、課題に指定している箇所が、非常に短いのです。

実際に映像を見るとわかりますが、洋画部門が12秒で邦画部門が22秒です。

その分センスが必要になることは確実ですが、同じくアルクが主催している翻訳大賞に比べたら、ずいぶん参加しやすいと思います。

しかも賞金が18万円だから、翻訳大賞(5万円)より、むしろ高額っていうね……。

こっちは旅行券ですけど、同じ主催者でこの差は何……。

とにかくそんなわけで、本業(?)である小説投稿と並行しつつ、自分も参加してみようと思います!

前回アルク映像翻訳コンテストの話を書きましたが、注意事項を見ていたらこんな文章が目にとまりました。

「審査結果についてのお問い合わせ、クレームにはお答えしません。予めご了承ください。」

おい、待てよ！

わざわざ注意事項に載せるってことは、過去にクレームした奴がいるのかよ！

うん、でもね……。

気持ちはすっごく理解できるよ……。

やっぱり自分が落選したら、納得いかないですもんね。

その賞の主催者に対して、理由を問い詰めたくなる心情は、ものすごく理解できます。

まあ実際それはできないので、自分で心の整理をしなきゃいけないわけですが、本当にツライ時はグチってもいいんじゃないかなーと思います。

もちろん、出版社にクレームするのはダメで、相手を選ぶ必要はあると思いますが。

そういう時の相手は、やっぱり同じ投稿者がいいですね。

投稿者って落選した仲間に対して親切で、慰めたり励ましたりしてくれますもんね。

少なくとも、「常木ザマアw」とか、言われたことないですもん。

いや、本当はそう思われていて、言われてないだけかもしれませんが（汗）

とにかく何が言いたいかというと、落選の深い悲しみから立ち直るにあたって、投稿仲間の存在は大切だということです。

これからも、こんな迷走中の投稿者ですが、皆様あたたかい目で見守ってください。

えんため2次 - 2014.07.25 Fri

こんばんは、らくだです。

本日えんため大賞と、ガールズノベルズ部門の、2次結果が発表されました。

【えんため大賞】

応募総数 758作品

2次通過 23作品

通過率 約3%

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/novel_2nd2014.html

【ガールズノベルズ部門】

応募総数 519作品

2次通過 26作品

通過率 約5%

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/select/g_novel_2nd2014.html

というわけで。

2次通過された皆様は、おめでとうございます。

いや、それにしても、自分自身が1次で落選していると、2次発表を穏やかな気分で眺められてイイですね！

.....。

必死で強がりを書いて、墓穴を掘るスタイル。

それから公式サイトに大きく出ていますが、リニューアルに関する詳細発表は、8月1日（金）に決まった模様です。

個人的には、ウェブ受付開始かなーとか勝手に想像していますが、いったいどこがどう変わるのか詳細発表を待ちましょう！

昨日の記事を書いた後、「えんため落ちたから励まして」という、匿名のコメントをいただきました。

というわけで。

コメントをくださった匿名さんに、常木らくだからエールを送ります。

「落選なんかに負けるな！」

「我々は同じ夢を追っている仲間じゃないか！」

「さあ、あの夕日へ向かって、今から全力で走り出そうぜ！」

まあ、こっちは中年なんで、3分くらいしか全力で走れませんけれど。

でも、アレですよ。

実際の年齢に関わらず、投稿って青春ですよ。

実は以前、ブログの読者様から、「同じ夢を追いかけてながら、泣いたり笑ったりしている仲間が、パソコン画面の向こうに確かにいる。これって何だか、青春ですよ！」というメールをいただきまして。

それを読んで、本当だなーと、深く共感したんです。

ネット上の繋がりだと、相手の顔も本名もわからないけれど、それでも同じ気持ちで繋がっている仲間がいる。

それって素敵なことですよ。

その方の言葉を借りますが、本当に「青春」だと思います。

自分にできることは少ないですが、そんな素敵な繋がりを増やしつつ、小説投稿の世界を盛り上げていけるよう、これからもブログを続けようと思います！

話題にするのが遅すぎかもしれませんが、スニーカーの1次結果が発表されました！

通過者リストは下記アドレスです。

1次通過された皆様は、おめでとうございます。

【発表ページ】

<http://www.sneakerbunko.jp/award/index.php>

え？

オイラ？

オイラは送ってな……いえ、今回は送りました（爆）

送ったのに名前がないということは、また1次落ちだったということです。

まあ、でもね。

今回たしか参加宣言の記事を書かなかったので、ぶっちゃけスルーしようかなーと思ったんですが、やっぱり落ちた後は落選報告を書かずにはいられないですね。

別に自暴自棄で卑屈になっているわけじゃなく、自分の場合、その方が気持ちが前向きになるんですよ。

誰にも打ち明けないと、落選のショックが心の中に停滞してしまうけれど、書いて周囲に伝えると自然と気持ちの整理がつけられるというか。

そんなわけで、今後もたくさん落選記事を書くとありますが、皆様どうかあたたかい目で見守ってくださいませ。

もちろん本心では、落選報告ではなく通過報告を、いや、受賞報告を書きたいです！

いつかそれが現実になるように、落選しても前を向いて、一步一步進みたいと思います。

今回はフィギュアスケートの話題です。

長らく会員募集を休止していた、スケートファンクラブ『アイスクリスタル』が、新規会員の募集を受付するそうです！

【アイスクリスタル】

<http://www.icecrystalnet.com/>

募集人数 300人

受付期間 8月19日(火)10:00～20日(水)17:00

申込方法 上記ホームページからエントリー&締切り後に抽選

まあ、このブログは小説投稿ブログなので、ここに書いても誰の役にも立たないとは思いますが……。

いいんです。

この記事は自分用の備忘録ってことで。

とにかくアイスクリスタルは、チケットの特別先行販売があるので、ずっと入会したいと願ってきました。

しかし抽選に外れたり、「次こそは！」とリベンジを誓っても、その後2年くらい新規募集がなかったり……
(涙)

そんなわけで、「もう一生入れないのかな」と思っていた矢先の今回の募集なので、非常に嬉しいです。

上に書いた通り、エントリーの開始日は、8月19日(火)！

早速カレンダーに記入しつつ、楽しみに待とうと思います。

これで「毎日更新のブログです！」と言ったら、間違いなく天罰が下りそうなくらい、更新期間があいてしまいました（汗）

というわけで。

久し振りに復活の、常木らくだです。

皆様～！

らくだは生存しておりますよ～！

しかし、暇人の自分に似合わないほど、7月はずっとバタバタしております。

それで数日間アップしなかったり、逆に1日に複数回アップしたり、非常に不定期な更新になってしまいました。

そうそう。

数日分をまとめて処理するこの更新方式を、「便秘スタイル」と名付けようかなーと思ったんですが、さすがに下品すぎるのでそれは自粛しておきます。

まあとにかく、万ーこのブログをやめる時は、必ず閉館宣言をする予定なので。

無言で夜逃げはしないので、しばらく更新が途絶えても、その点をご安心ください。

ちなみに今月の創作活動ですが、まずは日ラブに作品を投稿完了して、それから野性時代の原稿を準備しておりました。

自分が一般文芸の賞に参加しても、場違いかなーとは思いますが、投稿しなかったら受賞できる確率はゼロですからね。

その部分は前向きに考えつつ、無理のない範囲で、来月も頑張ろうと思います！

昨日「日ラブに投稿した」と書きましたが、そういえば日ラブのあらすじって、400字以内なんですよ。

よ、400字……。

800字でも苦労してるのに、その半分ってどういうこと……。

短編ならまあいいとして、長編のあらすじを400字以内ですべて説明するのは、正直言って至難の業です。

で、とりあえず普通に書いてみたら、やっぱり800字くらいになってしまって（汗）

ええーい、チクショウ！

こうなりゃ心を鬼にして、ダイエット開始じゃー！

<具体的な方法>

- ・修飾語を削る
- ・複数の文章を繋げて、文字数を減らす
- ・主要キャラクター以外は、あらすじに登場させない
- ・ひらがなで書いていた箇所を、漢字に直してスリムアップ
- ・名前が長い登場人物は、文字数を消費しないよう、短い愛称で表現する

しかし、これを律儀に実行しても、出来たあらすじは600字（大汗）

仕方がないので、具体的に説明していた部分を、大幅に省略して削ってみたら、どうにか400字以内に収まりました。

でも、

「常木らくだは、とある事情で友人とケンカしたが、ある出来事がキッカケで和解した」

↑↑↑ こんな感じになってしまって（爆）

本当にこれでいいのか……。

その、「とある事情」や、「ある出来事」を説明するのが、あらすじの役割なのに……。

まあ、それ以上どうにもできなかったんで、結局はその状態で印刷しました。

今回日ラブに投稿された皆様が、400字以内という厳しい制約の中でどんなあらすじを書いたのか、個人的に気になるところです。

こんばんは、らくだです。

皆様は投稿先を決める際に、賞金の額って気にしますか？

自分の場合、「重視はしないけど、一応は気にかける」って感じです。

なんか、ね。

電子書籍系の新しい賞なんかで、最近、たまに見かけるじゃないですか。

大賞を受賞しても、賞金は図書券 3,000 円で、出版の確約はナシ……とか。

今の自分の実力では、高望みも選り好みもできないことは承知ですが、それだとちょっと投稿意欲がなくなりますよね。

いや。

なにも賞金を目当てに、投稿しているわけじゃないですよ。

ただ図書券 3,000 円とか、報酬があまりにも少なすぎると、「長編小説を書き上げるのがどれだけ大変なことか、主催者さんは理解していないんじゃないかな？」と思えてしまって、それで投稿意欲がなくなります。

やっぱり、ね。

新人賞を開催するなら、せめて賞金 10 万円くらいは、設定しておいて欲しいですよ。

へっぽこ投稿者の分際で、こんな発言をしたら、また嫌われそうですが（汗）

いいんです。

思ったことを書くのが、ブログというものです。

まあ、賞金についてあれこれ言っても、自分はまだ 1 円も手にしていないわけで。

文章を書いてお金を稼げるような日が、いつか来たらいいなあーと思います。